

日本薬学会 市民講演会

上手な薬局の活用法

- 自分の健康は自分で守る時代 -



日時

2011年11月15日（火）13:30～15:30 ※13:00受付開始

会場

日本薬学会長井記念ホール（東京都渋谷区渋谷2-12-15 地下2F）

主催

日本薬学会広報委員会

参加費

無料

申込

10月21日より日本薬学会HPにて受付開始 <http://www.pharm.or.jp/>
（定員400名・先着順）

開催趣旨

この市民講座は薬局による健康支援活動を知っていただき上手に活用していただくために企画しました。

最近では、自分の健康は自分で守る時代といわれ、健康に関心の高い方が増えています。でも、自分の健康に自信がない、不安があるというときに、医療機関をなかなか受診できずに、時間がどんどん過ぎてしまったという経験はありませんか。そんなとき、近所の薬局で相談するという方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。

この市民講座では、健康相談や、医療機関と連携した健康支援を実際に行っている薬局から紹介していただき、薬局は薬を提供するだけの場ではないことを知っていただこうと思っています。薬局に対する理解が深まり、身近な薬局を上手に活用し、健康の維持・向上に役立てていただくことを願っています。



司会：高子 徹・平井 みどり
（日本薬学会広報担当理事）

【日本薬学会/会頭】西島正弘

13:30～13:40 開会挨拶

13:40～15:00 パネルディスカッション

13:40-13:55 ・地域薬局が提供する様々な健康支援(1)

健康相談と医療機関との連携

【フローラ薬局/薬局長】篠原久仁子

13:55-14:10 ・地域薬局が提供する様々な健康支援(2)

居宅介護支援を中心に

【一樹新生薬局/薬局長】佐々木孝雄

14:10-14:25 ・消費者の立場から見えるもの

【医療情報研究所/医療ジャーナリスト】伊藤隼也

14:25-14:40 ・薬剤師は健康管理の良きアドバイザー～医師が提案する薬局の活用法～

【医師、昭和大学薬学部/教授】木内祐二

14:40～14:50 質疑応答

14:50～15:20 ディスカッション

15:20～15:30 まとめ

【慶應義塾大学薬学部/教授】望月眞弓

日本薬学会総務課 広報委員会

Tel: (03) 3406-9121

E-mail: koho@pharm.or.jp